



2025年 11月14日

各 位

会 社 名 株式会社バローホールディングス  
代表者の役職名 代表取締役会長兼CEO 田代 正美  
(コード番号: 9956 東証プライム市場・名証プレミア市場)  
問い合わせ先 常務取締役管理本部長 篠花 明  
電 話 番 号 ( 0 5 7 4 ) - 6 0 - 0 8 6 4

2026 年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月13日に公表いたしました 2026 年3月期第2四半期（中間期）（2025 年4月 1 日から 2025 年9月 30 日）の連結業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2025 年4月 1 日～2025 年9月 30 日）  
(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間期純利益	1 株当たり中間期純利益
前回発表予想 (A)	445,500	10,800	12,800	7,400	139円63銭
当期実績 (B)	450,542	14,048	15,086	8,277	157円16銭
増減額 (B-A)	5,042	3,248	2,286	877	-
増減率 (%)	1.1	30.1	17.9	11.9	-

2. 差異の理由

当第2四半期（中間期）における連結業績は、営業収益が概ね前回発表予想どおりとなりましたが、利益面につきましては、主力のスーパーマーケット事業で中核会社の株式会社バローが生鮮強化により水産、ベーカリー、デザートを含む果物の売上高が大きく伸長し、営業総利益が経費の伸びを上回って増加したほか、ホームセンター事業で主要3社の仕入統一や適正な価格設定により売上総利益率が大幅に改善しました。また、スポーツクラブ事業では会費の改定などによる增收と経費削減により、計画を上回る営業増益となりました。

これらの結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回発表予想を上回る結果となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、業績が大きく左右される年末商戦などの需要動向の推移を見極める必要があるため、前回公表数値を据え置いております。

以上